



平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月12日

東

上場会社名 株式会社アジアゲートホールディングス 上場取引所
 コード番号 1783 URL <http://www.asiagateholdings.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金井 壮
 問合せ先責任者 (役職名) 経理事務連絡担当 (氏名) 平林 友伸 (TEL) 03-5572-7848

四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績 (平成26年10月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	2,056	4.5	△125	-	△74	-	△73	-
26年9月期第3四半期	1,968	△16.8	△119	-	△211	-	△250	-

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 △33百万円 (-%) 26年9月期第3四半期 △255百万円 (%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	△1.74	-
26年9月期第3四半期	△6.19	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第3四半期	8,258	7,113	85.6
26年9月期	8,670	6,976	80.4

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 7,076百万円 26年9月期 6,976百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	-	-	-	0.00	0.00
27年9月期	-	-	-	-	-
27年9月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想 (平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,952	10.8	△151	-	△149	-	△153	-	△3.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年9月期3Q	42,442,851株	26年9月期	42,442,851株
② 期末自己株式数	27年9月期3Q	120株	26年9月期	2,000,820株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年9月期3Q	41,944,388株	26年9月期3Q	40,442,081株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要素により異なる可能性があることをご承知おきください。業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年10月1日～平成27年6月30日)におけるわが国経済は、アベノミクス効果や東京五輪開催など公共事業は順調に推移する一方、円安に伴う建築資材高騰など、当社を取り巻く外的環境は波乱含みでありながら明るい兆しも見え始めました。

弊社は平成27年4月1日より社名を株式会社アジアゲートホールディングスと変更いたしました。これを新たな経営の船出とし、さらなる発展を臨むよう努めてまいります。

このような状況の下、当社グループは、順調な景況を反映し、建設事業を中心に売上高は前年同四半期と比較して88百万円増加しましたが、営業損益はコストの増加により前年同四半期と比較して6百万円減少いたしました。

経常損益に関しましては、持分法による投資損失が投資利益に転じ、前年同四半期と比べ大幅に改善しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高20億56百万円(前年同四半期売上高19億68百万円)、営業損失1億25百万円(前年同四半期営業損失1億19百万円)、経常損失74百万円(前年同四半期経常損失2億11百万円)、四半期純損失73百万円(前年同四半期純損失2億50百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、以下の売上高にはセグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。

① ゴルフ・リゾート事業

ゴルフ・リゾート事業におきましては、天候不順の影響を受け売上高は減少しましたが、コスト削減に取り組んだ結果、売上高8億60百万円(前年同四半期売上高8億90百万円)、営業損失92百万円(前年同四半期営業損失1億66百万円)となりました。

② ファイナンス事業

ファイナンス事業におきましては、ほぼ予定通りに推移し、売上高6百万円(前年同四半期売上高6百万円)、営業利益10百万円(前年同四半期営業利益8百万円)となりました。

③ 建設事業

建設事業におきましては、順調な受注の伸びにより売上高は増えましたが、工事原価率は上昇したため営業利益が減少しております。この結果、売上高11億5百万円(前年同四半期売上高10億53百万円)、営業利益28百万円(前年同四半期営業利益78百万円)となりました。

④ リアルエステート事業

リアルエステート事業におきましては、取引は順調でしたが、のれん償却等が発生したために売上高42百万円(前年同四半期売上高2百万円)、営業損失75百万円(前年同四半期営業損失42百万円)となりました。

⑤ その他

上記に属さない事業(主に通信関連取引)は売上高47百万円(前年同四半期売上高18百万円)、営業利益1百万円(前年同四半期営業利益0百万円)を計上しました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて4億11百万円減少し82億58百万円となりました。

流動資産は85百万円減少し42億90百万円、固定資産は3億26百万円減少し39億67百万円となりました。流動資産減少の要因は現金及び預金の減少によるものです。

固定資産の減少の内訳は、有形固定資産の減少12百万円、無形固定資産の減少71百万円、および投資その他の資産の減少2億41百万円であります。主な要因として無形固定資産のうち、のれんが償却により72百万円減少したことと、投資その他の資産の長期貸付金が3億46百万円減少したことによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて5億48百万円減少し、11億45百万円となりました。負債減少の主な要因は、短期借入金が4億93百万円減少したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億37百万円増加し、71億13百万円となりました。純資産増加の主な要因は、四半期純損失により利益剰余金が73百万円減少したものの、自己株式の処分による資本剰余金(自己株式処分差損)4億69百万円と自己株式の6億4百万円の減少による株主資本60百万円の増加、新株予約権の発行36百万円、為替換算調整勘定33百万円の増加などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期連結通期の業績予想につきましては、平成26年11月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

平成27年5月12日付「自己株式の処分及び新株予約権の発行による調達資金支出予定時期の変更に関するお知らせ」において開示いたしましたとおり、「ザ・レジデンス強羅」のリニューアルオープンの時期が平成27年7月オープン予定から、平成28年1月～5月頃オープン予定へと変更されておりますが、当初予想において当該施設のリニューアルオープンに伴う損益は織り込んでいない為、影響はございません。

尚、今後業績予想の修正が必要と判断される場合には、明らかになりました時点で別途お知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,311,882	1,800,356
受取手形・完成工事未収入金等	374,080	311,002
リース投資資産(純額)	45,734	34,624
商品	135,348	92,413
材料貯蔵品	13,237	12,462
販売用不動産	1,446,334	1,885,961
未収入金	24,577	42,899
その他	37,847	119,092
貸倒引当金	△12,862	△8,151
流動資産合計	4,376,180	4,290,660
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	446,778	462,403
機械装置及び運搬具(純額)	42,891	35,055
工具、器具及び備品(純額)	9,013	8,280
土地	1,755,915	1,755,915
建設仮勘定	20,000	—
有形固定資産合計	2,274,599	2,261,654
無形固定資産		
のれん	72,932	—
その他	5,794	6,994
無形固定資産合計	78,726	6,994
投資その他の資産		
投資有価証券	651,123	651,123
関係会社株式	603,176	669,700
長期貸付金	750,025	403,225
長期未収入金	25,286	58,296
その他	60,123	61,351
貸倒引当金	△149,198	△144,612
投資その他の資産合計	1,940,536	1,699,084
固定資産合計	4,293,862	3,967,733
資産合計	8,670,043	8,258,394

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	251,003	299,021
短期借入金	495,000	1,942
未払法人税等	17,849	3,990
未払消費税等	36,098	22,537
繰延税金負債	129,399	123,274
賞与引当金	12,100	6,594
ポイント引当金	22,454	21,158
その他	248,049	194,667
流動負債合計	1,211,956	673,187
固定負債		
繰延税金負債	5,594	5,005
役員退職慰労引当金	41,907	19,628
退職給付に係る負債	126,749	134,503
資産除去債務	16,013	16,186
その他	291,556	296,496
固定負債合計	481,821	471,820
負債合計	1,693,777	1,145,008
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500,000	3,500,000
資本剰余金	4,577,779	4,107,779
利益剰余金	△531,181	△604,462
自己株式	△604,082	△36
株主資本合計	6,942,514	7,003,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△55	△24
土地再評価差額金	—	6,324
為替換算調整勘定	33,806	67,085
その他の包括利益累計額合計	33,751	73,385
新株予約権	—	36,720
純資産合計	6,976,265	7,113,385
負債純資産合計	8,670,043	8,258,394

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,968,016	2,056,636
売上原価	996,316	1,186,968
売上総利益	971,699	869,667
販売費及び一般管理費	1,091,288	995,659
営業損失(△)	△119,589	△125,991
営業外収益		
受取利息	11,609	8,183
受取配当金	63	74
受取給付金	1,829	1,768
持分法による投資利益	-	26,889
雑収入	20,131	22,147
営業外収益合計	33,634	59,063
営業外費用		
支払利息	2,468	1,776
持分法による投資損失	120,310	-
資金調達費用	-	5,354
その他	2,796	147
営業外費用合計	125,575	7,277
経常損失(△)	△211,530	△74,205
特別利益		
固定資産売却益	5,419	730
特別利益合計	5,419	730
特別損失		
固定資産除売却損	22,862	266
工事補償金	10,655	-
特別損失合計	33,518	266
税金等調整前四半期純損失(△)	△239,629	△73,741
法人税等	10,901	△460
四半期純損失(△)	△250,531	△73,280

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△250,531	△73,280
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,001	39,634
その他の包括利益合計	△5,001	39,634
四半期包括利益	△255,532	△33,646
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△255,532	△33,646

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)

当社は、第1四半期連結会計期間において、第三者割当による新株予約権の発行及び自己株式の処分を行いました。これにより、その他資本剰余金(自己株式処分差損)が469,999千円、自己株式が604,046千円減少し、新株予約権が36,720千円増加しました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金は4,107,779千円、自己株式は△36千円、新株予約権は36,720千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	ゴルフ・リ ゾート事業 (千円)	ファイナ ンス事業 (千円)	建設事業 (千円)	リアルエス テート事業 (千円)	その他 (千円)	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	890,881	2,443	1,053,408	2,302	18,980	1,968,016	—	1,968,016
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,384	—	—	—	4,384	△4,384	—
計	890,881	6,827	1,053,408	2,302	18,980	1,972,400	△4,384	1,968,016
セグメント利益又は損 失(△)	△166,322	8,845	78,782	△42,048	460	△120,282	693	△119,589

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する事項

当第3四半期連結累計期間において、合同会社箱根山松苑の出資持分を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末に比べ、第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、リアルエステート事業において2,023,068千円増加しました。

(のれんの金額の重要な変動)

「リアルエステート事業」セグメントにおいて、販売用不動産を保有する不動産保有ビークルである合同会社箱根山松苑を取得いたしました。当社の市場調査により、同社の資産に超過収益力が見込まれた為、同社純資産を上回る金額での取得に合意いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、109,398千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	ゴルフ・リ ゾート事業 (千円)	ファイナ ンス事業 (千円)	建設事業 (千円)	リアルエス テート事業 (千円)	その他 (千円)	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	860,501	1,460	1,105,222	42,362	47,089	2,056,636	—	2,056,636
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,621	—	—	—	4,621	△4,621	—
計	860,501	6,081	1,105,222	42,362	47,089	2,061,257	△4,621	2,056,636
セグメント利益又は損 失(△)	△92,037	10,234	28,486	△75,153	1,791	△126,679	687	△125,991

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。